

E.R.F.C.

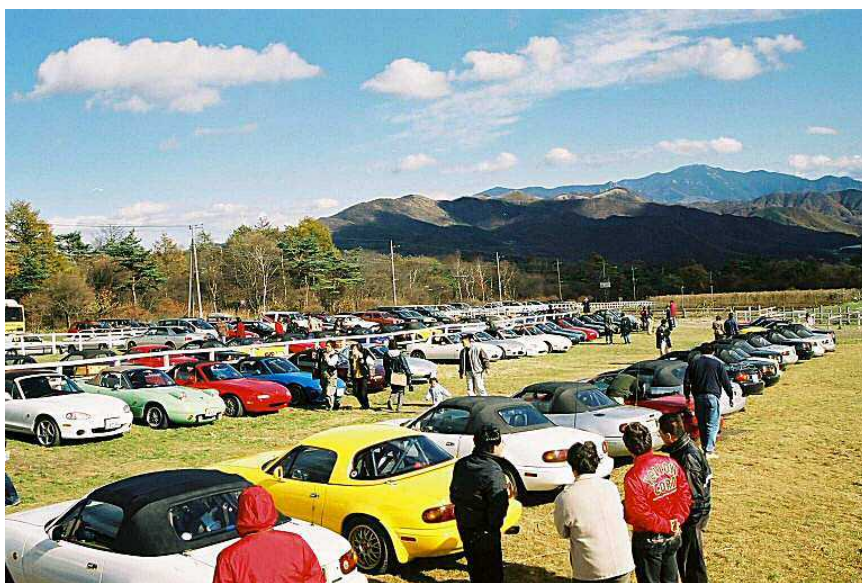
Newsletter 2003 vol.3

清里ミーティングですよ～！

豆蔵@清里ミーティング実行委員長です。

長い長～い梅雨(だよ)が明けてようやく夏が来たと思ったらすでに世の中は秋です。

そんなわけで、14回目の清里ミーティングの時期がやってきました。今年の開催はなんと寒かった去年よりももう1週遅い11月9日の日曜日。場所はいつも通り、清里にあるキープ協会清泉寮です。



今年はモーターショーの年。直前に開催されるモーターショーでは噂通りの車が出てくるかどうか、そしてそれが市販車となって出てくるのかどうか気になるところですが、今回の清里ミーティングのテーマはそれとはひとまず関係なく「ロードスターと過ごす(仮)」です。

ユーノスのデビューから14年。早くから乗ってた人達は家族構成の変化などで乗換えせざるを得なくなり・・・そう。初期からのERFCスタッフでもろどすた乗りは少数派です。(苦笑)さらにこのたびあの人までもが・・・。(涙)

しかし周りを見まわしてみると一時期乗換えても再びろどすたに戻ってきた人が少なからずいます。そして乗り続けている人もそれぞれの事情で2台目が変わっていたり。そんなロードスターの魅力ってなんでしょう？そして長く気持ち良く付き合っていくにはどうしたらいいんでしょう？今回はそんなことを少し考えてみたいな、と思います。

とは言え、次のロードスターや噂されるマツダのスポーツカー戦略も気になるところ。ほんとにテーマどおりの展開になるのかどうか。どんな展開になるかは来てみてのお楽しみ！

そんなメインの企画を中心に今年もあります、何でもコンテストにスワップミーティング！もちろん毎年好評の清里弁当もさらなるパワーアップを目指して(?)お弁当屋さん和相談中です。

参加申し込み方法などは同封した応募要綱をごらんください。

という事で今年もスタッフ一同、皆様の参加をお待ちしています。

豆蔵@清里ミーティング実行委員長

【GDP 2003】

車といえば性能・仕様もさることながら切り離せないのがデザイン！そんなデザイン関係のイベント(?)を見に行った片貝さんからの公私混同的(おい!)報告です。

9/4～6に東京ビッグサイトで Good Design Presentation 2003 というのがあり(仕事で)行ってきました。おなじみGマーク商品の公開審査会です。

ちょうどクルマの公開審査をやっている日でした。館内端さんら審査員の前で、ラウム、ティアナ、レガシー、RX-8、グランディス、プリウスのデザイナーが公開プレゼンしていて、一通り見る事ができました。

RX-8はチーフデザイナーの前田さんが登場。スポーツカーが生き残るためのコンセプトは評価されていました。

が、部分的にデザインが安っぽい(ランプの中のシルバーの飾りなど)あと100万高くしてほしいとの指摘をされて困惑していたようです。

ただし100万も高いと買える人は限られてしまうでしょうね。

いちばんたたかれたのはレガシー。クルマとしてはきれいになったが、デザインポリシーがあいまいという点をかなりつっこまれてました。それだけ期待している人が多いともいえます。

いちばん評価の高そうだったのは、まだ発表前だったプリウス。

変な気負いがなく大人のデザインだということらしい。しかしトヨタの常で、きらめくところはあいかわらず、少ないですね。デザイナーはインテリア、エクステリアとも30歳くらいの若い人でした。トヨタの企業としての余裕が見受けられます。

一般には公開されていない内容も知ることができ、なかなかおもしろかったので来年も行く予定です。



前田さんによるRX-8のプレゼンの様子



コペンのコーナーでのクレイモデルを削る作業のデモ風景

事前登録すれば入場無料となっています。

(<http://www.g-mark.org/gdp/>)

(片貝智 No.473)

【番頭つものやまの初心者の会・・・たまにはこんな時間も過ごしてみたい】

毎度おなじみつものやまさん・・・ですが、今回はちょっといつもと趣向を変えて...



駅からすこし離れた商店街のシャッターはおおかた閉まっている時間だったが、あたかも灯台のようにその店の看板だけが明るく灯っていた。看板の横の小さなテーブルには味わい深そうなビールの小瓶が並んでいて、ちょっとだけ安堵した

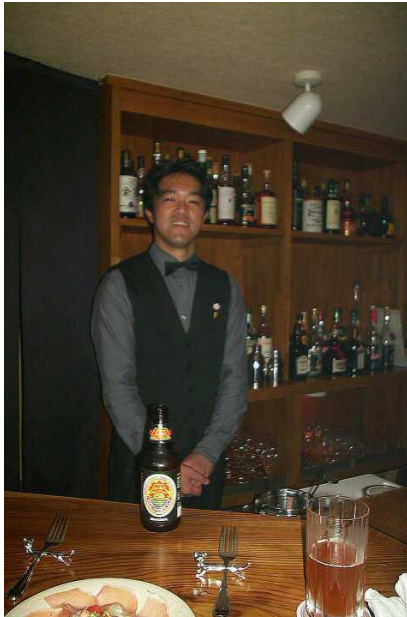
自分が可笑しい。

初めて訪れる店に入る時はいつもそうするように、ほんの少しだけ自分に気合を入れて、階段を降りると・・・なんとなく暖かい心地が伝わってきそうな扉が。そこは、「Shot Bar toranoana」。

すこしだけお茶目な名前そのバーのマスターは新井一博さん。去年のプレス5号で奥様である仲田はみさん(650)が紹介して下さった熊谷にあるショットバーです。最近仕事の都合で埼玉県に住む事になった長谷川浪次郎さん(649)に誘われて、お店にお邪魔しましたので、そのご報告を。

明るい階段を降りて店内へと扉を開け、ほの暗い店内にちょっと驚いた目が慣れた頃にまず気づくのは、左手にあるコレクションボックス。ロードスターやRX-7、RX-8、アテンザなどの模型が並

んでいます。聞くところによると、お客さんが持ちこんだものも飾ってあるとか。



挨拶もそこそこに新井さんに促されてカウンターの一隅に腰掛けると、5人も腰掛けると埋まる店内の広さが、ワタシたちを落ち着いた世界に誘ってくれます。

メニューはベーシックなものが中心です。特に何かを売りにするのではなく、余り高くないものを美味しく飲んでほしいとのこと。それではと、早速お店の外のディスプレイに素直に誘われて、まずはベルギービールを頂きました。

ロードスター談義に興じながら、心地よくなって

2杯目。長谷川さんは更にベルギービール、私はカクテルを。その時の気分や好みに合わせて薦めてくださるので、メニューに頼らずに相談してみるのも楽しいですね。

2杯目が空く頃には、長谷川さんとワタシはもうすっかり和んでしまいました。それは店内に満ちている雰囲気醸し出している新井さんの落ち着いた語り口と気さくな人柄のせいでしょうか。

3杯目もやっぱり長谷川さんはベルギービール。一口いただきましたがこれがまた美味しい。(名前忘れちゃったのでお店に行って聞いてみてくださいね。)ワタシはスコッチをロックで。当然ですが、新井さんのお酒に対する造詣は深いものがありますので、いろいろ伺ってみるのも楽しいのでは。

楽しいお話と芳醇で刺激的なタリスカールで幸せをかみ締めた頃に、再訪を心に誓ってお暇しました。

(ちなみに熊谷駅の東京方面最終は23時11分。)こんなお店が家のそばにあったら通っちゃうねなんて語りながら、高崎線の車内で幸せな気持ちになってました。

「Shot Bar toranoana」 Tel:048-***-****

(小さなお店ですので、あらかじめ来訪時刻をお伝えしておくことをお勧めします。)

【ひでまるのユーノス日記「続・やられちゃいました。(完結編?)」】

うちの黄色いユーノスは、けっきょく廃車になってしまいました…。前回ご報告したとおりダメージはかなりひどく、示談まで時間もかかりそうで保管料もバカにならないし、金額もさることながらどれだけキチンと直るかわからないってことで、クルマ屋さんとも相談してそーゆー結論になりました。

で、物損については相手の保険屋の提示金額+加害者からも多少出してもらってことで示談が終了しました。修理見積りの180万には届くはずもなかったんですが、単純に年式を考えたら妥当な金額+にはなかったので納得することにしました。

とはいえ、やっぱり黄色い1.6のユーノスってのはほとんどありませんね。カーセンサーとかグーとか、インターネットとかでもいろいろ見てるんですが、ほとんど出てこないし、すぐ売れちゃうし、見に行ったのでも納得できないのばかりでした。

マツダE&Tが発表した「リフレッシュ・ロードスター」にできればよかったんですが、7月10日の締め切りに間に合いませんでした…。リフレッシュ・ロードスターなら黄色が選べたんですよー。示談があと2週間ほど早く済んでたらと思うと残念ですが、しょーがないですね。また同じような企画があったらすぐに飛びついちゃうと思いますけどね。マツダE&Tのみなさん、ぜひまたやってください!

清里には間に合いませんが、じっくり次のクルマを探すつもりです。やっぱり黄色のユーノスじゃないと、とか思ってたけどだんだん違うクルマもいいかなーとか思い始めてしまってます。会長がロードスターに乗らなくていいのかって話もあったりするかもしれませんが…。もともと色で衝動的に買ったクルマだったし、ユーノスだったら黄色じゃなきゃイヤだし、E.R.F.C.はオーナーズクラブじゃなくて「ファンクラブ」だってことで許してください。さて、次はどんなクルマにしようかなー。

というわけで、またしばらくは「ミニ日記」です。みなさんよろしくお付き合いください。7月には車検も通したし、去年の夏に苦労した(ってほどでもなかったけど)キャブレターのオーバーフローも直したので、止まっちゃうこともなくだいぶ快適に乗ってます。あ、でもこないだ止まっちゃって路肩に押しつか。路肩に寄せて一服したら何事もなかったかかっちゃったけど。ふと水温計を見たらぜんぜん動いてなかったこともありました。でもそのときはどこからともなく「叩いてみれば?」って声が聞こえたのでメーターをバシッと叩いたらピョコンって針があるべきところに移動しました。ま、そのときはフツの水温だったんですけどね。

最後になりましたが、心配して下さったみなさん、ありがとうございます。通院も8月いっぱい終了しました。また清里や、どこかでお会いしましょう。ぼくは毎月第2日曜日の朝、三河湾スカイラインの遠望峰パーキングに出発したりしてます。愛知県あたりの方のみなさん、いっしょに遊びましょう。

(ひでまる No.590)

【レディース通信】

今回は清里のお弁当を一手に取り仕切る(?)さっちゃんの登場。近づいちゃってどうしよう なお話です。

今年の夏はなんだかはっきりしないお天気の日々でしたね。そんな天気をかいくぐり、私達も一応家族旅行に行ってきました。目的地は箱根。総勢7人、ワンボックスを借りての旅行です。子ども達は温泉だけじゃつまらないだろう、と途中で富士サファリパークに行きました。到着したのは7時30分。サファリバスというサファリパークの中に入ってエサをあげられる特注バスに乗ってみたい、とのん気に切符を買いに並ぶと・・・すでに1番の8時発のバスは売り切れ。買えたのは9時15分発の切符でした。こんな早朝から1時間以上も待つのかぁ。意外に混んでるのね～。でも諦めなくて良かった。待つ価値のある面白さでしたよ。熊やライオン、トラ、キリン。どれをとっても「こんな近くで見たこと無い!」という至近距離での遭遇。かなりドキドキ、感動しました。このサファリパークで動物たちに感動したのと同じくらい感動的な面白さだったモノがあるんです。それはね、お義母さん。旦那の両親が一緒だったのですがお義母さんはかなり怖かったらしく「キャー」「嫌だ嫌だ」「もうあっちいってよ」この3種類の言葉を連発。せっかくサファリバスに乗ったんだから、という旦那の言葉も耳に入らない様子でライオンゾーンでライオンがバスに近づくと孫達の目をおさえながら「だめだ!!見ちゃダメ!夢に出て来るから!」と絶叫。息子の虎太郎が「怖くないんだよ」というと「だめだめ!怖いんだからぁ、見ない!」とたまたみかけるのを見るに至っては「何のためにサファリバスに乗ったんだい?」というおかしさをどうこらえるかに必死の私。昔の悲しい事を思い出したりして耐えしのいだったのでした。

さて、今回私達はサファリバスに乗ってサファリゾーンを回りましたが、ここは自家用車でも回る事ができます。(エサはあげられないけど)我が家が行ったのはお盆の最中でかなり混んでいましたがどの車の家族やカップルも楽しそうに見える中、新型ソアラでうっかり入ってしまった・・・という感じの若者は車体に熊やライオンが近づいて来るとかなり慌てていました。伸びをしてフロントに傷なんかついていないか確認したりして。そしてそんな若者をさめた目で見ていたんだぁ、助手席の女の子が。今後、彼女とサファリパークへのお出かけ予定のある方で愛車にキズをつけられると動揺する可能性があると思われる方はせっかくのデートを台無しにしないためにも入り口でサファリナビゲーションカー¥4000を借りてサファリゾーンに突入しよう!ちなみにロードスターなどオープンカーでは幌を開けてもサファリゾーンには入れないそうですので、サファリバスかナビゲーションカーにして下さいね。念のため。

帰宅して息子の虎太郎とサファリパーク楽しかったねえ!とおしゃべりに花が咲き、「何が一番かわいかった?」と聞くと「きりん!!」と答えたので、次に「何が一番こわかった?」と聞いたらね、しばーらく考えて「おかあちゃん!」だって!たしかにね、たくさん注意したよ、でもね、ライオンにどうぞ、って手をあげようとして、駐車場で車に轢かれそうになったり、乗馬コーナーで馬場に入っちゃったりするんだもん。それなのにライオンより怖いなんて、ひどい…。横で「くっくっく」旦那が笑ってます。ちえっ、今に見ておれ!来年は「何が一番かわいかった?」の方に名前が上がるように頑張るから!

(前田佐知子)

【編集後記】

先日カーナビを買いました。いや、もともと付けてた古いナビが壊れたんで仕方なく買い換えたんですけどね。前のナビは当時ソニーが従来品の半額以下と言う画期的な価格で発売した NVX-F10 というもの。調べてみたら発売から10年も経ってるんですね。これだけ使いやあ充分に元も取れたと言うものです。

そんなわけで後継ナビを探しに行ったわけですが、どれもこれも高機能なのはいいけれど高過ぎる!テレビチューナーなんて要らないからそのぶん安くしてくれよ。どうせ初期型ろどすたじゃ車速パルスも取れないし、地図だって今まで通り、CD-ROMで充分だし。。と、探してたらたまたま近所のカー用品店で特売の10万円DVDナビを発見。どんな機種を買ってもこれまでよりは高性能、と即断でした。

しかし、この手の機械については十年一昔どころか前の機種記憶の大昔の感覚になってしまうほどスゴイです。前の機種はルート検索機能も無く実質的に自分の位置を見るだけの地図帳だったので、今度はちゃんと道案内してくれます。(当然か・・・)面白くてつい2、3キロ先の買い物にも道案内させたりして。(笑)

でも、気がいたら新型ナビ装着後、あまり車に乗ってません。(汗)この夏は特に長距離で乗る事が少なく、先日給油したら、その前はひと月以上も前だったりしてます。。

さて、いよいよ清里ミーティングの募集も始まります。

次号は清里報告号と言うことでちょっと遅れて11月末か12月初めの発行となりそうです。では次号、いや、是非清里でお会いしましょう。

(まめぞう)

会員さんからののお便り



この夏、北海道までロードスター持って行ってきました。たまたま泊まった富良野のホテルが毎年RS in 北海道の主催地で、前庭の芝生に70台くらい並ぶとか。ボーイがやけにRSに詳しい。

北海道を走って、改めてRSの良さを見直したところです。7年目の車検取って、幌を仕替えて、今年は清里に行けるといいのですが。

(赤松嘉之 No.660)

E.R.F.C. Newsletter

2003 Vol.3

2003年9月20日発行

発行: EUNOS ROADSTER FAN CLUB

E-MAIL: erfcd@dec.sakura.ne.jp

URL: http://dec.sakura.ne.jp/~erfc/